

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月5日

上場会社名 日東紡
 コード番号 3110 URL http://www.nittobo.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 企画本部経営企画部部长
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(氏名) 南園 克己
 (氏名) 小林 直哉

TEL 03-3514-3810

上場取引所 東大

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|-----|-------|-----|-------|-----|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年3月期第3四半期 | 91,392 | — | 3,524 | — | 3,555 | — | △2,177 | — |
| 20年3月期第3四半期 | 103,345 | 0.0 | 8,593 | 4.4 | 8,446 | 2.5 | 5,380 | 45.1 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期第3四半期 | △8.90 | — |
| 20年3月期第3四半期 | 21.76 | — |

※当期より「四半期財務諸表に関する会計基準」等に基づき財務諸表を作成しているため、当期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|---------|---|--------|---|--------|--------|----------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | % | 円 銭 | % | |
| 21年3月期第3四半期 | 149,462 | — | 68,986 | — | 45.0 | 286.12 | — | |
| 20年3月期 | 156,148 | — | 75,928 | — | 47.3 | 298.83 | — | |

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 67,266百万円 20年3月期 73,859百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 20年3月期 | — | 0.00 | — | 4.00 | 4.00 |
| 21年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 21年3月期(予想) | — | — | — | 4.00 | 4.00 |

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 119,000 | △12.8 | 2,500 | △75.7 | 2,400 | △76.6 | △7,600 | — | △31.42 |

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 247,677,560株 20年3月期 247,677,560株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 12,579,411株 20年3月期 516,963株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 244,731,595株 20年3月期第3四半期 247,190,874株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、本資料の3ページに記載の【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。
 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
 なお、「3. 平成21年3月期の連結業績予想」に記載の通期の1株当たり当期純利益は、平成20年12月25日開催の取締役会で決議された自己株式の取得が終了した後の発行済株式数(自己株式を除く)を含めて計算した期中平均株式数により算定しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間（平成20年4月1日～平成20年12月31日）におけるわが国経済は、秋口から深刻化した100年に一度と言われる世界的な金融危機が実体経済に波及し、世界経済が急激に減速する状況のなか円高の進行も加わり、わが国経済を牽引してきた輸出が大きく鈍化するなど企業収益が大幅に減少しました。そのため、雇用環境も急速に悪化して個人消費のマインドが大きく冷え込むなど景気は急激に悪化し、極めて厳しい局面となりました。

繊維事業は、消費の冷え込みによる衣料品販売不振の影響で低調に推移しましたが、高付加価値品の拡販や適正利潤の確保、そして徹底したコストダウンに努めてまいりました。

建材事業は、景気の悪化から住宅着工戸数が低迷したほか、企業収益の悪化を背景に非住宅用途の販売も低調に推移しました。

グラスファイバー事業は、高付加価値品の拡販や適正利潤の確保、そして徹底したコストダウンに努めてまいりましたが、電子材料向けが需要の急激な減少の影響を大きく受けたほか、建築・住宅機器向けもマンションの販売不振などの影響により、低調な推移となりました。

その他の事業は、消費の低迷や競争の激化はありましたが、新規顧客の開拓や新商品の開発を進めたことにより、比較的堅調に推移しました。

その結果、日東紡グループの売上高は913億92百万円、営業利益は35億24百万円、経常利益は35億55百万円、四半期純損失は21億77百万円となりました。なお、平成20年12月25日開催の取締役会において決議いたしました「事業環境の急変に即応する諸施策の実施」に伴い、固定資産減損損失等42億26百万円を事業構造改善費用として計上しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態（平成20年4月1日～平成20年12月31日）

当第3四半期末における総資産は1,494億62百万円となり、前連結会計年度末と比較して66億86百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金の減少などです。

負債は804億75百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億55百万円増加しました。主な要因は、未払金の増加、長期借入金の増加などです。

純資産は689億86百万円となり、自己資本比率は45.0%と前連結会計年度末に比べ2.3ポイント低下しました。

(2) キャッシュ・フローの状況（平成20年4月1日～平成20年12月31日）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失27億60百万円や減価償却費45億61百万円、たな卸資産の増加額38億30百万円、法人税等の支払額29億79百万円などにより8億65百万円の資金が減少しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得49億92百万円、投資有価証券の取得12億51百万円などにより60億51百万円の資金が減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出65億63百万円、配当金の支払額9億91百万円、長期借入れによる収入77億円などにより13億68百万円の資金が減少しました。

これらの結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は105億円となり、前連結会計年度末に比べ83億40百万円の資金が減少しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、世界的な金融危機の深刻化や世界景気の一層の下振れ懸念、株式・為替市場の大幅な変動といったリスクが存在している中、今後のわが国経済は、外需に加えて内需も停滞し、景気の下降局面が長期化かつ深刻化する恐れが高まっております。

このような環境の下、平成20年12月25日開催の取締役会において決議いたしました「事業環境の急変に即応する諸施策の実施」につきまして、予定通り役職員一体となって着実に推し進め、更なる付加価値向上を図ることによって、当社グループの事業体質を一層強固なものにしていきたいと思いますと考えております。

なお、平成21年3月期の業績予想につきましては、平成20年12月25日に修正公表いたしました業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ92百万円減少し、税金等調整前四半期純損失は451百万円増加しております。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載して

おります。

(追加情報)

平成20年度の法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間から主として機械装置についての耐用年数の見直しを行い、一部の固定資産について耐用年数の変更を行っております。

これにより、減価償却費は153百万円増加し、営業利益、経常利益はそれぞれ153百万円減少し、税金等調整前四半期純損失は153百万円増加しております。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|---------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10,802 | 19,084 |
| 受取手形及び売掛金 | 39,145 | 40,220 |
| 製品 | 12,101 | 10,361 |
| 原材料 | 1,777 | 1,438 |
| 仕掛品 | 3,948 | 3,449 |
| 貯蔵品 | 11,215 | 10,086 |
| 繰延税金資産 | 2,434 | 2,252 |
| 短期貸付金 | 21 | 171 |
| その他 | 2,234 | 1,507 |
| 貸倒引当金 | △116 | △116 |
| 流動資産合計 | 83,565 | 88,455 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 14,628 | 16,230 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 10,479 | 12,896 |
| 土地 | 18,013 | 18,029 |
| 建設仮勘定 | 3,255 | 980 |
| その他(純額) | 1,054 | 1,156 |
| 有形固定資産合計 | 47,431 | 49,292 |
| 無形固定資産 | 2,016 | 1,751 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 9,278 | 11,109 |
| 長期貸付金 | 27 | 34 |
| 繰延税金資産 | 5,537 | 4,127 |
| その他 | 1,808 | 1,583 |
| 貸倒引当金 | △201 | △204 |
| 投資その他の資産合計 | 16,448 | 16,649 |
| 固定資産合計 | 65,897 | 67,693 |
| 資産合計 | 149,462 | 156,148 |

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|---------------|--------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 22,409 | 21,854 |
| 短期借入金 | 5,173 | 4,680 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 6,730 | 7,241 |
| 未払金 | 3,224 | 2,134 |
| 未払法人税等 | 506 | 2,789 |
| 未払消費税等 | 102 | 185 |
| 繰延税金負債 | 17 | 57 |
| 賞与引当金 | 844 | 2,253 |
| 事業構造改善引当金 | 50 | 110 |
| その他 | 4,708 | 4,318 |
| 流動負債合計 | 43,767 | 45,626 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 16,051 | 14,403 |
| 退職給付引当金 | 13,249 | 13,011 |
| 修繕引当金 | 3,966 | 3,989 |
| 繰延税金負債 | 142 | 169 |
| 事業構造改善引当金 | 700 | — |
| その他 | 2,597 | 3,018 |
| 固定負債合計 | 36,708 | 34,593 |
| 負債合計 | 80,475 | 80,219 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 19,699 | 19,699 |
| 資本剰余金 | 23,062 | 23,062 |
| 利益剰余金 | 26,364 | 29,523 |
| 自己株式 | △2,097 | △115 |
| 株主資本合計 | 67,028 | 72,169 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 958 | 1,704 |
| 繰延ヘッジ損益 | 26 | — |
| 為替換算調整勘定 | △746 | △14 |
| 評価・換算差額等合計 | 238 | 1,689 |
| 少数株主持分 | 1,719 | 2,069 |
| 純資産合計 | 68,986 | 75,928 |
| 負債純資産合計 | 149,462 | 156,148 |

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) |
|-------------------|--|
| 売上高 | 91,392 |
| 売上原価 | 69,842 |
| 売上総利益 | 21,550 |
| 販売費及び一般管理費 | 18,025 |
| 営業利益 | 3,524 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 45 |
| 受取配当金 | 221 |
| 持分法による投資利益 | 316 |
| 受取賃貸料 | 119 |
| 為替差益 | 94 |
| その他 | 400 |
| 営業外収益合計 | 1,197 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 393 |
| 退職給付会計基準変更時差異の処理額 | 428 |
| その他 | 344 |
| 営業外費用合計 | 1,166 |
| 経常利益 | 3,555 |
| 特別利益 | |
| 固定資産売却益 | 24 |
| 貸倒引当金戻入額 | 21 |
| その他 | 42 |
| 特別利益合計 | 87 |
| 特別損失 | |
| 固定資産処分損 | 302 |
| 投資有価証券評価損 | 1,501 |
| たな卸資産評価損 | 359 |
| 事業構造改善費用 | 4,226 |
| その他 | 14 |
| 特別損失合計 | 6,403 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △2,760 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 608 |
| 法人税等調整額 | △1,229 |
| 法人税等合計 | △621 |
| 少数株主利益 | 38 |
| 四半期純損失(△) | △2,177 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) |
|----------------------------|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △2,760 |
| 減価償却費 | 4,561 |
| 引当金の増減額(△は減少) | △1,193 |
| 投資有価証券売却及び評価損益(△は益) | 1,501 |
| 事業構造改善費用 | 4,226 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 1,020 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △3,830 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 220 |
| その他 | △1,521 |
| 小計 | 2,223 |
| 利息及び配当金の受取額 | 278 |
| 利息の支払額 | △388 |
| 法人税等の支払額 | △2,979 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △865 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 固定資産の取得による支出 | △4,992 |
| 固定資産の売却による収入 | 59 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1,251 |
| その他 | 133 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △6,051 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 500 |
| 長期借入れによる収入 | 7,700 |
| 長期借入金の返済による支出 | △6,563 |
| 自己株式の取得による支出 | △1,981 |
| 配当金の支払額 | △991 |
| その他 | △32 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,368 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △54 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △8,340 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 18,840 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 10,500 |

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

| | 繊維事業 (百万円) | 建材事業 (百万円) | グラスファイバー事業 (百万円) | その他の事業 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|------------------------------|---------------|---------------|---------------------|-----------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する 売上高 | 7,921 | 35,445 | 37,471 | 10,553 | 91,392 | — | 91,392 |
| (2)セグメント間の内 部売上高 又は振替高 | 44 | 1,238 | 587 | 415 | 2,285 | (2,285) | — |
| 計 | 7,966 | 36,684 | 38,059 | 10,968 | 93,678 | (2,285) | 91,392 |
| 営業利益又は営業損失 (△) | 413 | △234 | 2,641 | 1,317 | 4,137 | (612) | 3,524 |

(注) 1 製品の種類、性質、製造方法、販売方法等の類似性、損益集計区分及び関連資産等に照らし、事業区分を行っております。

2 各事業の主な製品

- (1) 繊維事業 …… コアスパン糸、ストレッチ製品、芯地製品、二次製品
- (2) 建材事業 …… 不燃吸音天井板、ロックウール製品、グラスウール製品、
床材、プラント、音響エンジニアリング
- (3) グラスファイバー事業 …… グラスファイバー製品、電子関連材料、FRP採光板
- (4) その他の事業 …… メディカル、清涼飲料水、スペシャリティケミカルス、ビル賃貸業、
スポーツ施設運営、保険代理業

3 会計方針の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

【定性的情報・財務諸表等】4(3)②に記載の通り、通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「繊維事業」は営業利益が6百万円減少しております。「建材事業」は営業損失が10百万円増加しております。「グラスファイバー事業」は営業利益が68百万円減少しております。「その他の事業」は営業利益が7百万円減少しております。

4 追加情報

【定性的情報・財務諸表等】4(追加情報)に記載の通り、平成20年度の法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間から主として機械装置についての耐用年数の見直しを行い、一部の固定資産について耐用年数の変更を行っております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「繊維事業」は営業利益が12百万円減少しております。「建材事業」は営業損失が119百万円増加しております。

「グラスファイバー事業」は営業利益が22百万円減少しております。「その他の事業」は営業利益が1百万円増加しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合が90%を越えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

| | アジア | 北米 | 欧州 | その他 | 計 |
|--------------------------|--------|-------|-------|-----|--------|
| I 海外売上高(百万円) | 10,063 | 1,686 | 1,003 | 248 | 13,002 |
| II 連結売上高(百万円) | — | — | — | — | 91,392 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%) | 11.0 | 1.8 | 1.1 | 0.3 | 14.2 |

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………中国、台湾、韓国等

(2) 北米……………アメリカ、カナダ

(3) 欧州……………ドイツ、イギリス、ロシア等

(4) その他の地域……………中南米、アフリカ、オセアニア等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成20年10月21日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得などにより、当第3四半期連結会計期間において自己株式が19億81百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は20億97百万円となっております。

「参考資料」

前第3四半期にかかる財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 期 別 | 前年同四半期 〔平成20年3月期〕 第3四半期 |
|-----|---------------------|-------------------------------|
| | | 金額 |
| I | 売上高 | 103,345 |
| II | 売上原価 | 76,540 |
| | 売上総利益 | 26,804 |
| III | 販売費及び一般管理費 | 18,211 |
| | 営業利益 | 8,593 |
| IV | 営業外収益 | 1,306 |
| | 1. 受取利息 | 92 |
| | 2. 受取配当金 | 130 |
| | 3. 持分法による投資利益 | 515 |
| | 4. その他 | 568 |
| V | 営業外費用 | 1,453 |
| | 1. 支払利息 | 465 |
| | 2. 退職給付会計基準変更時差異償却額 | 428 |
| | 3. その他 | 559 |
| | 経常利益 | 8,446 |
| VI | 特別利益 | 1,066 |
| | 1. 固定資産売却益 | 697 |
| | 2. 修繕引当金戻入益 | 311 |
| | 3. その他 | 57 |
| VII | 特別損失 | 752 |
| | 1. 固定資産処分損 | 214 |
| | 2. 環境整備費用 | 498 |
| | 3. その他 | 39 |
| | 税金等調整前四半期純利益 | 8,760 |
| | 法人税、住民税及び事業税 | 2,513 |
| | 法人税等調整額 | 670 |
| | 少数株主利益 | 197 |
| | 四半期純利益 | 5,380 |

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| 項 目 | 期 別 | 前年同四半期 〔平成20年3月期〕 第3四半期 |
|---|-----|-------------------------------|
| | | 金 額 |
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | | 8,760 |
| 減価償却費 | | 4,249 |
| 売上債権の減少額 | | 1,139 |
| たな卸資産の増加額 | | △ 1,089 |
| 仕入債務の減少額 | | △ 1,256 |
| その他(純額) | | 397 |
| (小計) | | 12,200 |
| 法人税等の支払額 | | △ 3,716 |
| 構造改善に伴う支出 | | △ 257 |
| その他(純額) | | △ 251 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | 7,975 |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 固定資産の取得による支出 | | △ 4,567 |
| 固定資産の売却による収入 | | 822 |
| その他(純額) | | △ 1,360 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | △ 5,105 |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増加(△減少)額 | | △ 713 |
| 長期借入れによる収入 | | 2,050 |
| 長期借入金の返済による支出 | | △ 6,044 |
| 親会社による配当金の支払額 | | △ 741 |
| その他(純額) | | △ 52 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | △ 5,502 |
| IV 現金及び現金同等物に係る換算差額 | | 48 |
| V 現金及び現金同等物の増加額 | | △ 2,585 |
| VI 現金及び現金同等物の期首残高 | | 20,370 |
| VII 非連結子会社の連結子会社による吸収合併に伴う現金 及び現金同等物の増加額 | | 53 |
| VIII 現金及び現金同等物の四半期末残高 | | 17,839 |

(3) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

前年同四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)

(単位：百万円)

| | 繊維事業 | 建材事業 | ガラスファイバー 事業 | その他の事 業 | 計 | 消去又は 全社 | 連結 |
|--------------------------|-------|--------|----------------|------------|---------|------------|---------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する 売上高 | 9,311 | 40,250 | 42,962 | 10,821 | 103,345 | — | 103,345 |
| (2)セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 39 | 519 | 528 | 384 | 1,471 | (1,471) | — |
| 計 | 9,350 | 40,769 | 43,491 | 11,205 | 104,816 | (1,471) | 103,345 |
| 営業費用 | 8,862 | 39,620 | 37,479 | 9,747 | 95,709 | (957) | 94,751 |
| 営業利益 | 488 | 1,149 | 6,011 | 1,457 | 9,106 | (513) | 8,593 |